四條畷市議会議員（無所属）　一級建築士

作成：2015.07.23
市政報告08月号

長畑ひろのり News vol.094

(C)2013 Kohama Studio

6月定例議会における一般質問

・飯盛山城について

長畑ひろのり News vol.085 において、山本ゾンビさんが描いた下書きに私が色を付けた飯盛山城イメージ図を載せました。しかし、今号の大きな画像は、山城研究の成果を取り入れ、山本ゾンビさんが完成させた飯盛山城想像復元図の一部です。

ちなみに、本郭より上部のわずかな部分のみが四條畷市側となり、本郭を含む下部が大東市側となります。

【長畑質問】国史跡の指定について、行政的にはどういう手順で進むのか。

【行政答弁】現在、委員選定と併せ、第一回委員会開催に向け大東市教育委員会と調整中。その後は委員の指導を受け、平成２８年度から平成３０年度の間は、地権者への同意を求めながら国庫補助金を活用し現地での測量・発掘調査を実施し、平成３２年度に文化庁へ意見具申するための報告書を作成していく。

【長畑質問】国史跡の指定がされた後、飯盛山城を市として利用し活用する方法は。

【行政答弁】大東市教育委員会とともに、観光振興を趣旨に、史跡保存管理や整備に関し協議を進めていく。

【長畑質問】大東市と歩調を合わせていく方法は。

【行政答弁】専門委員会は、本市と大東市でそれぞれ設置するが、各市の委員は同じ方に就任して頂き、また、各市で開催する委員会には、それぞれの市教育委員会の文化財担当者が出席するなど、常に連携を図りながら事業を進めていく（本市で開催の場合は大東市の事務担当者が出席し、大東市で開催の場合は本市の事務担当者が出席）。

【長畑質問】調査、整備、そして土地の買収に国から補助金はどれぐらいの割合で出るのか。

【行政答弁】１／２をベースに国から補助金が出る。

【長畑質問】基本５割のようだが、土地の買収には８割ほど国から補助金が出ると聞いているが。

【行政答弁】そのようにも聞いている。

【長畑質問】市民の税金を使う事になるため、市民への理解が必要。市民への説明を含め周知方法をどう考えているのか。

【行政答弁】今後、発掘調査実施時の現地説明会や文化財関係団体等参画によるシンポジウムなどを開催する予定。

【長畑意見】昭和５１年４月２６日、和泉市と泉大津市が共同で国指定史跡とした“池上曽根遺跡”がある。この前例を勉強し、飯盛山城の国史跡の指定をまとめて頂きたい。

そして、あらゆる調査が行われ、この飯盛山城想像復元図が何度も修正され“想像”の２文字が消えることを期待する。

毎月発行している“長畑ひろのり News”を、約半年ごとに送っています。
送付の必要な方は、送付先を FAX もしくは e-mail にてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所　FAX 072-877-1280
e-mail　sky@nagahata.jp

公式ホームページ　http://nagahata.jp

mixi　twitter　facebook　ココログ

前号から、また、表のページから続いて裏面左半分についても６月定例議会における一般質問の報告をさせて頂きます。

・市民体育祭について

【長畑質問】
今年度の市民体育祭に対する私の認識だが、松竹芸能より、森脇健児とその陸上部として合計９名の芸能人が来られ多くの競技に参加して頂いた。その点では市民の方も喜んで頂き盛り上がったと思う。ただ、オープニング時には例年と変わらない人数が参加されていたと思うのだが、例年とは違う内容に多くの方が早々と帰られたように感じた。

目当てのオープン競技に参加しようと来たが無いから帰る。毎年行われているフリーマーケットを楽しみに来たが無いから帰る。模擬店へ食事をしに来たがサンアリーナ下には無いから帰る、しかし、西中体育館前に模擬店が移動したのを見つけた人は、それでも例年より出店数が少ないので帰る。そういう状況だったのでは。

【行政答弁】同じ認識。

【長畑要望】このレベルのことは計画段階からわかること。市民マラソンの時も同じだが、体育関係団体から私にいろいろな声が届いている。今後は、体育関係団体がそれぞれ気持ちよく協力できるような体制作りにも気を配りながら、少しでも早い時期から協議を行い、次回へ向けて進んで頂きたい。

・市民ホールのイベント案内について

【長畑要望】
少子化の時代に、少しでも他市から本市へ移り住んで頂くことが重要であるのは間違いないと考える。

そう考えれば、本市の魅力を知って頂くためにも、市民ホールのイベントは本市の市民だけを対象にするのではなく、他市の方に来て頂くチャンスととらえるべきではないか。

そういう視点から、大東市のサーティーホールの案内掲示板（上の画像を参照）のようにJR四条畷駅自転車置き場のフェンスや楠公商店街、また、ダイエー周辺など本市の市民以外にも周知できるような方法を考えて頂きたい。

くすのき広域連合議会の議長に

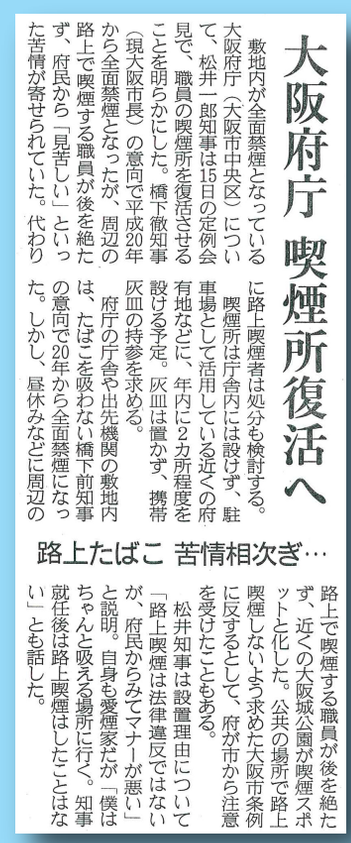
平成１２年４月より、四條畷市は守口市と門真市の３市で“くすのき広域連合”を組織し介護保険事業を運営しています。その広域連合長は門真市の園部市長で、本市の土井市長は守口市の西端市長と共に副広域連合長となります。

また、介護保険に特化しながら、年間予算は平成２７年度で約２７０億６千万円と、本市の約２００億円よりも多い金額となっています。そして、この組織は一部事務組合ですので議会も存在します。その議会の名称は“くすのき広域連合議会”と言い、四條畷市議会より４名、門真市議会より６名、守口市議会より７名の合計１７名の議員で構成されており、本市の議員定数１２名よりも多い議員数となっています。

その“くすのき広域連合議会”の臨時会が７月７日行われ、私が議長に選出されました。今後は議長として公正かつ円滑な議会運営に務めるよう頑張ります。

府庁の喫煙所復活を見習うべきでは

私は、これまで何度も委員会や定例議会において、市役所や市民総合センター等の公共施設における喫煙所設置を訴えてきました（参照：長畑ひろのり News vol.072）。



大阪府庁 喫煙所復活へ

敷地内が全面禁煙となっている大阪府庁（大阪市中央区）について、松井一郎知事は15日の定例会見で、職員の喫煙所を復活させることを明らかにした。橋下徹知事（現大阪市長）の意向で平成20年から全面禁煙となったが、周辺の路上で喫煙する職員が後を絶たず、府民から「見苦しい」といった苦情が寄せられていた。代わりに路上喫煙者は処分も検討する。

喫煙所は庁舎内には設けず、駐車場として活用している近くの府有地などに、年内に2カ所程度を設ける予定。灰皿は置かず、携帯灰皿の持参を求める。

府庁の庁舎や出先機関の敷地内は、たばこを吸わない橋下前知事の意向で20年から全面禁煙になった。しかし、昼休みなどに周辺の路上で喫煙する職員が後を絶たず、近くの大阪城公園が喫煙スポットと化した。公共の場所で路上喫煙しないよう求めた大阪市条例に反するとして、府が市から注意を受けたこともある。

松井知事は設置理由について「路上喫煙は法律違反ではないが、府民からみてマナーが悪い」と説明。自身も愛煙家だが「僕はちゃんと吸える場所に行く。知事就任後は路上喫煙はしたことはない」とも話した。

路上たばこ 苦情相次ぎ…

右の画像は、産経新聞７月１６日朝刊からの切り抜きです。敷地内全面禁煙の大阪府庁で路上喫煙する職員が後を絶たず府民から苦情を寄せられており、喫煙所を復活するとの内容です。

実は本市も同じことが起こっています。大阪府庁が喫煙所復活のこの機会に、本市も公共施設の敷地内全面禁煙をやめ喫煙所を設けるべきです。今も公共施設周辺では、職員や市民の方による路上喫煙を見かけますしタバコのポイ捨ても目に付きます。特に運動会時には、学校周辺も路上喫煙者で大変なことになっているのが現状です。